

教職員の学校評価の結果 R7年12月 実施

<アンケートの考察>

- A 十分できている . . . 5 B おおむねできている . . . 4
C あまりできていない . . . 2 D 努力を要する . . . 1

で、計算し平均ポイント、肯定率を算出。有効回答数 16 名（一部 15 名の質問あり）

☆ 平均が「4.5」以上の項目

- ・ 12 いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応の徹底している。
- ・ 13 命を守る教育の推進（避難訓練、防災教育等）ができている。
- ・ 16 家庭、地域との連携・協働によるサポート体制の構築ができている。
- ・ 17 HPや各種便りによる積極的な情報発信ができている。

- 12 生徒指導主事を中心として、児童理解・生活アンケートの活用など、複数で対応し、未然防止・早期解決に努めることができている。全体としては頑張っているが、いじめ、不登校の事案もある。
- 13 学期に1回以上の避難訓練を行うことができている。態度も真剣に取り組むことができている。
- 16 学校サポーターさんも必要に応じて学校運営に協力してくださっている。
- 17 教頭を中心に各学年がHPを担当し、情報発信をすることができている。

★ 平均が「4.0」未満の項目

- ・ 3 学習規律の徹底を土台にし、基礎的学力の確実な定着ができている。
- ・ 6 生活の中にある不合理に気づき、解決する力を児童は身に付けている。

- 3 国語科の授業始まりには1分間音読を続けている。全校的に計算タイムなどをとることで基礎的な学力の向上を目指したい。
- 6 授業中の「問い」づくりを通して、「なんで？」は日常生活でも見られるようになった。しかし、解決に向かう手順などは、まだ見られないことが多い。
- 道徳科の授業を確実にいき、充実させることで、自分の意見をしっかりと述べることができる児童を育てていきたい。

○ 以下前期は平均「4.0」未満から平均「4.0」以上になったもの

- ・ 4 人の思いを聴き、考え、優しい言葉遣いのできる児童が育っている。
- ・ 7 児童理解と全教職員の共通理解、および指導法を工夫している。
- ・ 9 進んで体力づくりに取り組む環境や指導の工夫をすることができたか。
（10月以降のITスタジアムへの参加）
- ・ 10 望ましい生活習慣の確立を働きかけたか。